

ご存知ですか？こんな図書館サービス

図書館の利用者カードを作っていただくと、パスワードとメールアドレスを登録することができます。では、登録すると何ができるようになるかご存知ですか？

<パスワード>

- ・館内にある利用者端末や、ホームページから資料を予約することができます。
※複製絵画・おもちゃ・読み聞かせ用大型絵本・雑誌最新号・貸出禁止資料は予約不可
- ・メールアドレスを登録することができるようになります。

<メールアドレス>

- ・予約した資料が貸出できるようになると、図書館からメールでお知らせします。

<登録手順>

- ・利用者カードの申請書に記入し、カードと本人確認ができるもの（免許証など）をそえて中央サービスデスクへお申し出ください。
- ・仮パスワードを発行しますので、図書館にある利用者端末の「ログイン」ボタンか、ホームページの「マイページ」よりログインして、任意のパスワードに変更してください。
※仮パスワードでもご利用いただけますが、安全のため変更することをお勧めします。
- ・同じページでメールアドレスを登録・変更することができます。
※ご利用のメールによっては、図書館からのメールが迷惑メールと判断され、受信できない場合があります。その場合は、ご自身で設定などを行ってください。

休館日

5月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

■ は本館の休館日です

5月のギャラリー

『スケッチ花の会作品展』

期 間：5月2日（火）～30日（火）
提 供： スケッチ花の会

※ギャラリーの展示は17時までです。

編集後記

5月といえばゴールデンウィークですね。みなさんはどこかに出かけられますか？どこにいても混み合っていて、遠くまで出かけるのはイヤだなあ、という方は、ぜひ図書館におこしください！ただし祝日は閉館が5時となりますのでご注意ください！！（お）

けやきどおり通信（No.284）

編集・発行 碧南市民図書館

〒447-0057
碧南市鶴見町1-70-1
Tel：(0566) 41-0894



けやきどおり通信



2017年5月 ～NO. 284～

沖縄を知る



沖縄が日本に返還されて今年で45年。
沖縄の歴史や、いま直面しているさまざまな問題、そして独特の文化に彩られた生活についての資料をご紹介します。

『沖縄は未来をどう生きるか』

大田 昌秀・佐藤 優/著
岩波書店（219オ）

沖縄戦を体験した元知事と、久米島にルーツをもつ作家が、琉球処分からの復権、現代まで至る歴史をたどりながら、いま沖縄が抱える問題について論じ、未来の展望を語り合う。

『旧暦と暮らす沖縄』

白井 明大/文 當麻 妙/写真
講談社（382キ）

沖縄に移住した著者が、風や海、生き物や祭事など、沖縄の暮らしやならわしを細やかに綴る。旧暦が人々の暮らしにいまも根付いている沖縄。自然と密接に関わる暮らしに触れる。

『沖縄問題 リアリズムの視点から』

高良 倉吉/編著 中央公論新社
（312オ）

近代以降の歴史を踏まえ、沖縄の行政に着目し、経済振興と米軍基地問題という2つの大きな課題についてどう取り組んでいくかを追う。

『ニッポンを解剖する！沖縄図鑑』

JTBパブリッシング（291.9ニ）

沖縄の名所や、独特の文化を徹底的に解剖！多くの固有種が生息するやんばるの森。日本一の鍾乳石数を誇る玉泉洞などの自然や、美しい琉球ガラス、宮廷料理などの文化、美ら海水族館、国際通りなどの観光スポットから、離島や祭りまで幅広く紹介する。



『フォト・ストーリー沖縄の70年』

石川 文洋/著 岩波書店(2197)

1938年沖縄に生まれ、その後本土に移住したフォトジャーナリストである著者が、沖縄米軍基地問題の取材をきっかけに、自らのルーツに目を向け、沖縄の歴史と基地問題について写真を交えて描き出す。

『沖縄の覚悟 基地・経済・“独立”』

来間 泰男/著 日本経済評論社(332オ)

数々の沖縄経済振興策に翻弄されてきた沖縄は、いまその呪縛から抜け出し、自ら進むべき道を模索し始めた。沖縄の経済、アメリカの軍基地にかかわる論評や書評のほか、琉球独立論なども掲載。

『戦う民意』 翁長 雄志/著 KADOKAWA(318.2タ)

現職の沖縄県知事がこの国の地方自治や、安全保障について問う。“米軍基地の辺野古移設問題”に際して、どうして総理は知事と会おうとしなかったのか？ なぜ民意は置き去りにされるのか？

『10万人を超す命を救った沖縄県知事・島田勲』

TBS テレビ報道局『生きる』取材班/著 ポプラ社(318.2ジ)

沖縄戦の中で「生きる」と号令した戦中最後の知事・島田勲^{しまだあきら}。命がけで人を守り、戦い抜いた男の生き方を通してみた沖縄戦とはどんなものだったのか伝え、人の命の重みを問う。TBSの報道番組の放送原稿や取材メモを併せて掲載。

『日本にとって沖縄とは何か』 新崎 盛暉/著 岩波書店(219ニ)

元沖縄大学の学長が、沖縄の現代史をたどりながら、辺野古新基地建設の問題について考える。

『沖縄戦二十四歳の大隊長』 笹 幸恵/著 学研パブリッシング(289.1オ)

太平洋戦争中、米軍陣地を突破し目標地へ到達できた唯一の戦例である“棚原の戦い”。その指揮を取っていたのは若き大隊長・伊東孝一大尉だった。彼はどんな判断を下し、部隊をひきいたのか。ロングインタビューと手記を元にしたノンフィクション。

『沖縄の殿様』 高橋 義夫/著 中央公論新社(219オ)新書

明治時代、沖縄の民を守るため、政府にたてついた男がいた。名門・米沢藩、上杉家の最後の藩主・茂憲は、明治14年に県令として沖縄に赴いた。いまもなお、沖縄の人々に愛される“沖縄の殿様”の2年にわたる記録。



『大学的沖縄ガイド』

沖縄国際大学宜野湾の会/編
昭和堂 (291.9タ)

基地問題の現状から、観光、年中行事、ウシオーラセー(闘牛)、首里城、琉球のことば、芸能に音楽…。しなやかでしたたかな沖縄の多面的な魅力を紹介。

『沖縄の伝統行事・芸能を歩く』

高橋 哲朗/著 沖縄探見社(386オ)

旧暦を中心とした沖縄の季節感覚や自然観、また地域ごとの特色や伝統の由来について写真を多用して解説する。多様でユニークな沖縄の伝統行事や芸能を知るための1冊。

『琉球列島の自然講座 サンゴ礁・島の生き物たち・自然環境』

琉球大学理学部「琉球列島の自然講座」編集委員会/編 ボーダーインク(462リ)

ユニークで貴重な沖縄の自然についての研究に取り組んでいる、琉球大学理学部。自然研究の面白さを、第一線の研究者がわかりやすく解説。沖縄の自然の魅力を知るための入門書。



『沖縄の水中文化遺産』 南西諸島水中文化遺産研究会/編 ボーダーインク(210オ)

沖縄の海は歴史の宝庫だ！海中に沈む、数々の貴重な水中文化遺産。中世・近世の貿易陶磁器や、近世・近代の異国船や積荷、港でみつかる碇石や鉄錨などの写真を掲載し、解説する。

『フラタモリ 6』

NHK「フラタモリ」制作班/監修
KADOKAWA(2917.6)

人気番組「フラタモリ」の、番組内では語りきれなかったエピソードや、撮影風景の写真、まち歩きに便利な地図を掲載。6巻には、松山、道後温泉、沖縄、熊本の旅を収録。

『壺屋焼入門』

倉成 多郎/著
ボーダーインク(751ツ)

島の風土の中で生まれた沖縄独自の陶芸、壺屋焼き。その歴史と特徴、作り方、陶工たちや作品を掲載した入門書。ほかにも読谷村にある“やむちん(焼き物)の里”のまち歩きのポイントも紹介する。

『クロスロード・オキナワ 世界から見た沖縄、沖縄から見た世界』

鎌倉 英也/著、宮本 康宏/著 NHK出版(219ク)

NHK放送局と広島放送局のディレクター2人による共著。空間と時間が交差する歴史のクロスロードであり続けた沖縄。日本・アメリカ・中国での取材をもとに、新たな沖縄の姿を提示する。

『「沖縄シマ豆腐」物語』 林 真司/著 潮出版社(383.8オ)

民俗学者・柳田国男が「野武士のごとき剛健なる豆腐である。」と評したという沖縄の島豆腐。沖縄の伝統食材が語りかける、人と食をつなぐ旅とは――。

『おじいとおばあの沖縄ロックンロール』 武藤 新二/著 ポプラ社(767オ)

平均年齢70歳。沖縄のおじいとおばあが集まって結成された、若者向けの歌を歌うコーラス隊「ONE VOICE」。見ているこちらが元気になれる、ロックンロールなノンフィクション。

【旅の本】より

『ていねいに旅する沖縄の島時間』 かい はた みち/著(291.9テ)

『沖縄県の歴史散歩』 沖縄県の歴史散歩編集委員会/編 山川出版社(291.9オ)

【暮らしの本】より

『世界一の長寿村に学ぶ「早死に」しない健康習慣』

我部 政美//著 平良 一彦//監修 主婦と生活社(498.3セ)

『沖縄の人だけが食べている』 仲村 清司著 夏目書房(596.21オ)

【C D】より

『沖縄の音楽』 キングレコード (CD370オ)

『沖縄民謡のすべて』 乙女椿/ほか歌 キングレコード (CD370オ)

『OKINAWA』 ザ・フーム/歌 東芝EMI (CD290ザ)

『沖縄の風』 夏川りみ/歌 ビクターエンタテインメント (CD290ナ)